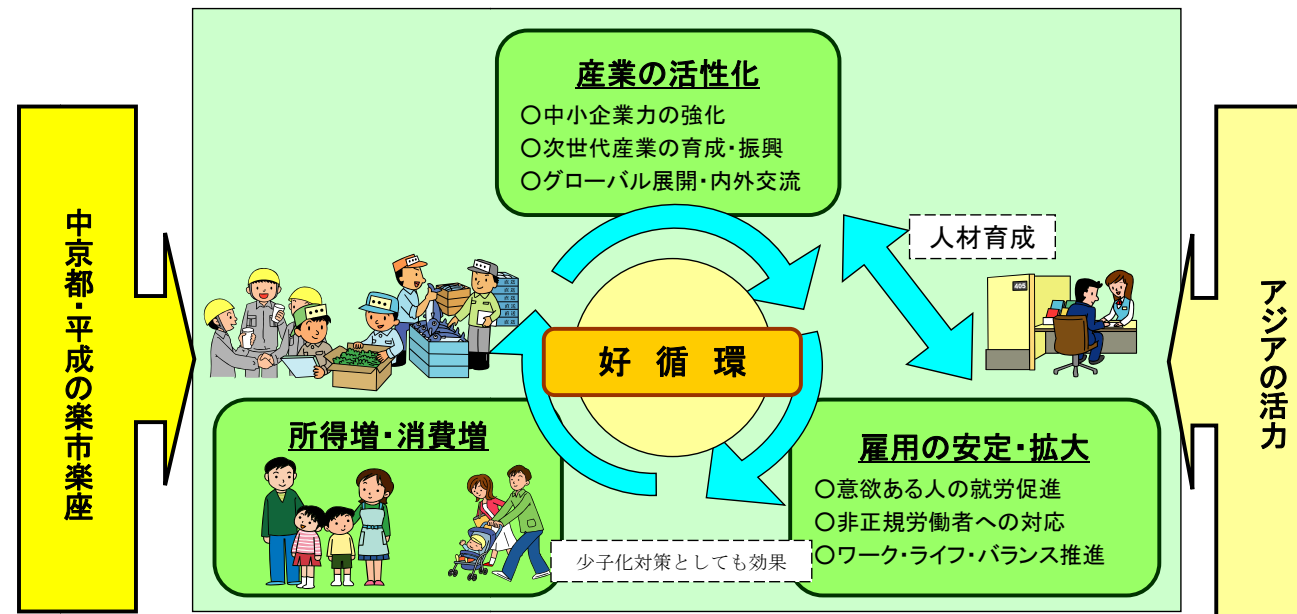


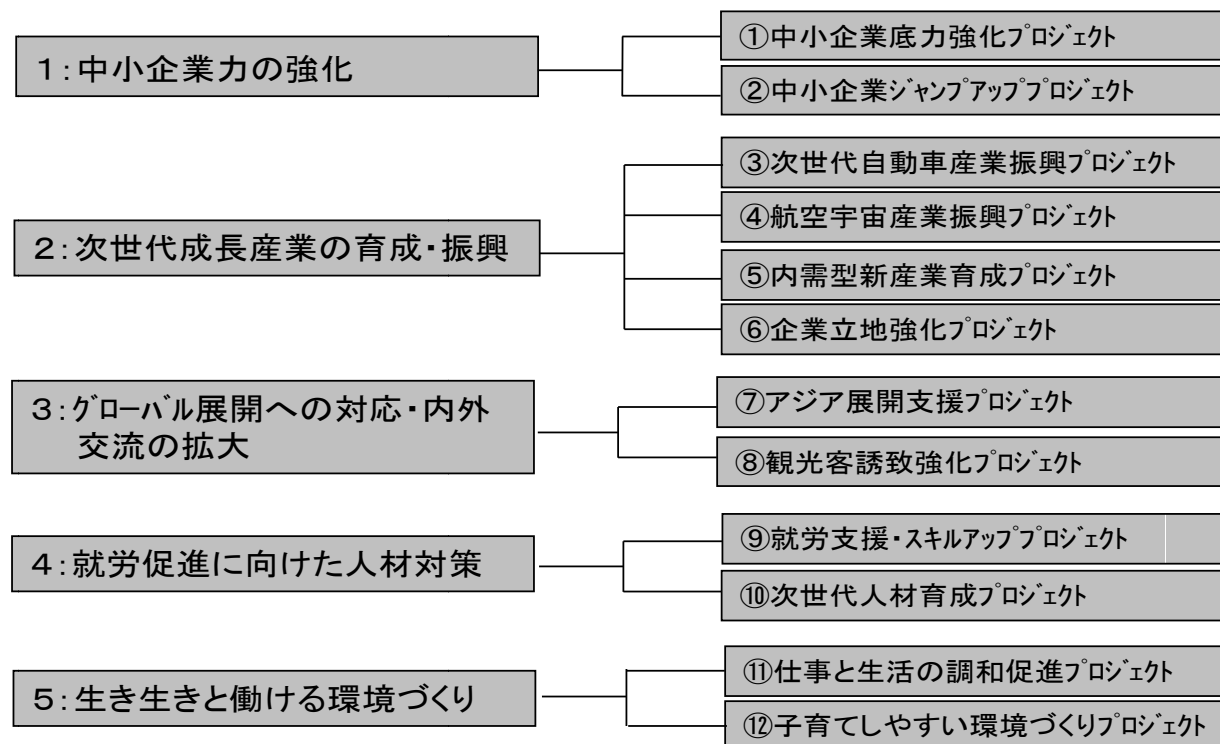
あいち産業労働ビジョン2011-2015の概要と進捗状況

ビジョンが目指す「世界と闘える力強い愛知」

- (1) 産業の活性化を通じて、雇用・所得環境の改善を図ると同時に、
 - (2) 人材力の強化や働きやすい環境の整備を通じて、多様なニーズに応じた就労を促進
 - (3) 所得の増加に伴う安定した消費により、産業の活性化に資する
- といった経済の「好循環」を実現し、世界と闘える力強い愛知を目指す。



あいち産業労働ビジョンの施策体系



ビジョンの枠組み

施策の柱1：中小企業力の強化

中小企業の飛躍と底力の強化を支援する。

- 〇多様な中小企業のニーズに応じた、きめ細かい支援を行う。
- 〇新分野進出やイノベーションに取り組む意欲的な中小企業に対し、人材育成、技術開発、販路拡大に関する支援を強化する。
- 〇中小企業の経営基盤を強化し、地域の雇用を支えるため、引き続き、金融支援、小規模企業・下請企業支援、地場産業の振興、商店街の活性化等を着実に推進する。

施策の柱2：次世代成長産業の育成・振興

本県経済をリードする次世代産業の育成・振興と企業立地を推進する。

- 〇「知の拠点」、総合特区制度を活用しながら、本県経済をリードする次世代成長産業を育成・振興する。
- 〇基幹産業である自動車産業と、大きな成長が期待される航空宇宙産業を育成・振興し、中堅・中小企業の参画を促しながら、地域における新たな雇用機会を創出する。
- 〇中長期的視点に立ち、将来の成長が期待できる環境・新エネルギー産業、高度部材・素材産業、健康長寿産業の事業化を支援する。

施策の柱3：グローバル展開への対応

アジアの新興国の経済活力を本県経済の成長に活かす。

- 〇中国、ベトナムとの経済連携を深化させるとともに、アジア地域との経済交流を強化するため、新たな国・地域との連携を模索する。
- 〇「観光振興基本計画」(2010年3月策定)に基づき、経済成長が著しく、所得水準の上昇が見込まれる中国、台湾、韓国、香港からの観光客誘致を強化する。

施策の柱4：就労促進に向けた人材対策

本県経済を牽引する人材を確保・育成する。

- 〇産業界や地域のニーズを踏まえつつ、若年者、女性、高齢者、障害者のスキルアップを図るとともに、求職と求人のマッチングを推進する。
- 〇将来の本県経済を担う次世代人材の育成を強化するため、キャリア教育の充実、技能五輪全国大会の開催等を推進する。

施策の柱5：生き生きと働ける環境づくり

働きやすく、休みやすい雇用環境の整備を促進する。

- 〇ワーク・ライフ・バランスの取組を促すため、企業、労働者双方に対する普及啓発を行う。
- 〇働きながらの子育てを応援する、職場づくりを支援する。

「あいち産業労働ビジョン 2011-2015」の政策目標に関する取組の進捗状況について

	目標値 (原則として、2015 年度の達成目標)	計画策定時の状況	進捗状況 (2012 年度)	進捗状況 (2013 年度)	最新状況 目標の再設定の考え方	
施策の 柱 1	中小企業の製造品出荷額等の全国シェア	10.0%	8.6% (2009 年)	8.65% (2010 年)	8.34% (2011 年)	
	中小企業の経営革新計画の承認数	累計 1,500 件	262 件 (2010 年度)	累計 300 件 (2012 年度)	178 件 累計 478 件	108 件 (2014 年 8 月末まで)
	中小企業等からの知的財産に関する相談件数	2,000 件/年度	1,600 件 (2006-10 年度平均)	2,073 件 (2011 年度) 2,942 件 (2012 年度)	3,606 件 (2013 年度)	
	中小企業のワンストップ支援窓口の利用件数	5,000 件/年度	4,000 件 (2010 年度)	3,464 件 (2011 年度), 4,154 件 (2012 年度)	4,324 件 (2013 年度)	1,536 件 (2014 年 8 月末まで)
	商店街の活性化成功事例	累計 25 件	—	活性化モデル商店街の指定 4 市 6 プラン 15 商店街 (2012 年度)	同左 4 市 4 プラン 15 商店街 (2013 年度) 累計 8 市 10 プラン 30 商店街	
施策の 柱 2	次世代自動車 (HV、PHV、EV、FCV、クリーン・エネルギー自動車) の県内新車登録販売の割合 (今後 10 年以内【2020 年度まで】のできるだけ早期に) 50%	13% (2009 年度)	20.5% (2011 年度)	28% (2012 年度) ※HV 以外の環境性能に特に優れた従来車の数を含む (免税 100% ⇨ HV と仮定し集計)	33% (2013 年度)	
	航空宇宙産業における品質認証取得件数	200 件 (再設定済)	49 件 (2009 年度まで)	155 件 (2012 年度)	142 件 (2013 年度)	
	新エネルギー実証研究における事業化件数	累計 15 件	3 件 (2010 年度まで)	累計 5 件 (2012 年度)	累計 5 件 (2014 年度)	
	ロボット製造業の製造品出荷額等	2,300 億円程度	556 億円 (2009 年)	1,034 億円 (2010 年)	1,068 億円 (2011 年) 988 億円 (2012 年)	
	健康長寿産業の製造品出荷額等	1 兆円程度	7,500 億円 (2009 年)	7,700 億円 (2010 年)	7,800 億円 (2011 年)	
	「知の拠点あいち」重点研究プロジェクトで開発する試作品数又は製品数 1 テーマ当たり 10 件 合計 30 件	—	—	4 件 (2012 年度)	累計 8 件 (2013 年度)	
	次世代産業における企業立地件数	累計 20 件	12 件 (2006-10 年度)	累計 11 件 (2012 年度)	累計 23 件 (2013 年度)	近年の立地件数の伸びを加味した上方修正を行う。 【新目標: 38 件】
施策の 柱 3	新たな国・地域との連携 (現行は 2 か所)	ベトナム (2007 年度) 中国江蘇省 (2008 年度)	タイバンコク都と相互協力に関する覚書締結 (2012 年度)	中国広東省と友好交流及び協力関係を発展させることを合意 (2013 年度)	タイ工業省と経済連携に関する覚書 (2014 年度)	
	海外サポートデスクにおける相談件数	100 件/年度	54 件 (2010 年度)	46 件 (2011 年度), 67 件 (2012 年度)	31 件 (2014 年 2 月末)	
	宿泊者数 [うち東アジア 4 か国・地域からの宿泊者数 延べ 150 万人]	延べ 1,500 万人 [延べ 38 万人 (2009 年)]	延べ 940 万人 (2009 年) [延べ 38 万人 (2009 年)]	延べ 1,087 万人 (2011 年) [延べ 35 万人 (2011 年)]	延べ 1,153 万人 (2012 年) [延べ 45 万人 (2012 年)]	延べ 1,238 万人 (2013 年) [延べ 57 万人 (2013 年)]
	外国版 HP のアクセス件数	480 万件	119 万件 (2010 年)	85 万件 (2011 年), 75 万件 (2012 年)	100 万件 (2013 年)	
	参加者総数 300 人 (うち外国人参加者 50 人) 以上の国際会議の年間開催件数 20 件/年	—	17 件 (2005-09 年平均)	16 件 (2011 年)	20 件 (2012 年)	

	目標値（原則として、2015年度の達成目標）	計画策定時の状況	進捗状況（2012年度）	進捗状況（2013年度）	最新状況 目標の再設定の考え方
施策の 柱4	若年者（15～34歳）の失業率 2ポイント以上の改善	5.9%（2010年平均）	5.1%（2012年平均）	4.3%（2013年平均）	
	女性（25～44歳）の労働力率 3ポイント以上の上昇	68.4%（2010年平均）	68.1%（2012年平均）	69.3%（2013年平均）	
	高齢者（65歳以上）の労働力率 1ポイント以上の上昇	23.8%（2010年平均）	21.6%（2012年平均）	23.4%（2013年平均）	
	民間企業における障害者の法定雇用率達成（2020年）1.8%	1.63%（2010年）	1.59%（2011年）、1.61%（2012年）	1.68%（2013年）	2013年4月から「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき法定雇用率が変更されたため、目標の再設定を行う。 【新目標：2.0%】
	技能検定合格者数 8,500人/年度	7,800人（2005-09年度平均）	9,282人（2011年度）、9,168人（2012年度）	9,121人（2013年度）	
施策の 柱5	ファミリー・フレンドリー企業の登録数 累計1,721社（再設定済）	721社（2010年度）	累計912社（2011年度） 累計1,007社（2012年度）	累計1,071社（2013年度）	2014年度1,105（8月末）
	年次有給休暇の取得率（2020年）80%	47.1%（2010年推計値）	46.3%（2011年）	47.4%（2012年）	
	男性の育児休業取得率（2020年）13%	1.2%（2008年）	1.5%（2011年）	1.5%（2012年）	
	低年齢児保育の受入児童数（2014年度）37,688人※名古屋市・中核市を含む	32,075人（2009年度）	37,261人（2012年4月1日現在）	39,325人（2013年4月1日現在）	現目標は平成26年度までの「あいちはぐみんプラン（平成21年度策定）」に基づくものであり、来年度の次期計画の策定時に検討する。

「あいち産業労働ビジョン2011-2015」の主な取組について

【施策の柱1：中小企業力の強化】

プロジェクト1 中小企業底力強化プロジェクト

- 「愛知県中小企業振興基本条例」の公布・施行（2012年10月）
 - ・愛知県中小企業振興基本条例」に基づく「中小企業基本調査」の実施 [2013年度 2,458社]
- 融資制度の充実
 - ・国や自治体からの補助金獲得企業向けのつなぎ融資制度の新設（2012年度）
 - ・金融機関のサポートを受け、経営改善に取り組む中小企業の資金繰りを支援する「経営力強化資金」の新設（2013年1月）
 - ・県内事業規模や雇用の維持・拡大に向けた中小企業の海外展開を支援する「海外展開支援基金」新設（2013年度）
 - ・「創業等支援資金」の窓口に商工会・商工会議所、商工会連合会の80機関を追加（2013年10月）
 - ・金融相談窓口（県内3カ所）の相談日の充実（2013年度から「週1日」を「週2～3日」に）
[実績：2012年度 12件 2013年度 74件 2014年度 23件（8月末まで）]
- 「あいち中小企業応援ファンド」による地場産業の支援
 - ・特別枠としての「モノづくり応援ファンド」「農商工連携ファンド」の新設（2012年度）
- 「産業デザイントライアルコア」を設置（2013年4月）
 - ・三次元造形装置を導入し、産業デザインの取組を支援
[相談実績：2013年度 209件、2014年度 84件（2014年8月末）]
- 商店街活性化の取り組み支援
 - ・商店街マネージャーの配置（2012年度～：豊橋、一宮、春日井、豊川、刈谷、豊田）
 - ・げんき商店街推進事業費補助金
[実績：2012年度 20市町村 42事業 2013年度 18市町 49事業]
 - ・消費税率の引き上げを見据え、商店街が新たにに取り組む消費喚起事業を支援（2014年度）

プロジェクト2 中小企業ジャンプアッププロジェクト

- 「あいち産業科学技術総合センター」における中小企業への技術相談・依頼試験
 - ・従来の産業科学技術研究所6拠点から、7拠点体制に再編（2011年度）
[実績：2012年度 相談・指導 36,462件 依頼試験 121,951件
2013年度 相談・指導 36,973件 依頼試験 120,038件
2014年度 相談・指導 16,335件 依頼試験 82,521件（2014年8月末）]
- 新事業展開・販路拡大の支援
 - ・専門家派遣による新規・独創的なビジネスプランの事業化支援
[実績：2011年度 8社 35回 2012年度 8社 33回 2013年度 6社 30回派遣]
 - ・「あいち中小企業応援ファンド」を活用した商品開発・販路開拓への支援
[実績：2012年度 64件 2013年度 55件 2014年度 45件
その内
（「モノづくり応援ファンド」[実績：2012年度 11件 2013年度 7件 2014年度 11件]
（「農商工連携ファンド」 [実績：2012年度 2件 2013年度 5件 2014年度 2件]）]
 - ・ネット通販サービスと連携した販路拡大セミナー
[実績：2012年度 3回開催 参加 412名 2014年度 6回開催予定]

- 「知財総合支援窓口」における窓口・訪問相談、専門家派遣の実施（2011年度～）
[実績：2011年度 窓口・訪問相談等 2,511件、内専門家派遣 87件
2012年度 窓口・訪問相談等 4,372件、内専門家派遣 202件
2013年度 窓口・訪問相談等 3,606件、内専門家派遣 138件
2014年度 窓口・訪問相談等 1,991件、内専門家派遣 103件（2014年8月末）]
- 「あいちシンクロトロン光センター」のオープン（2013年3月）
[実績：2013年度 利用件数 1,061シフト（4,244時間）利用率：63.8%
2014年度 利用件数 448シフト（1,792時間）利用率 68.2%（2014年8月末）]

【施策の柱2：次世代成長産業の育成・振興】

施策の柱2を横断する取組

- 「産業空洞化対策減税基金」に基づく日本一の研究開発・立地補助の実施（2012年度～）
 - ・研究開発・実証実験への支援
[実績：
2012年度採択 59件、7.6億円（次世代自動車10件、航空宇宙6件、環境・新エネルギー14件ほか）
2013年度採択 67件、7.6億円（次世代自動車15件、航空宇宙9件、環境・新エネルギー8件ほか）
2014年度採択 70件、7.1億円（次世代自動車13件、航空宇宙6件、環境・新エネルギー7件ほか）]
 - ・企業立地・設備投資への支援
[実績：
2012年度採択 42件、55.7億円（自動車22件、航空宇宙4件ほか）
2013年度採択 49件、38.0億円（自動車25件、航空宇宙2件ほか）
2014年度採択 15件、15.8億円（自動車5件、航空宇宙1件ほか）
合計で、投資規模 2,262億円、雇用維持・創出効果 24,000人の効果を見込む]

プロジェクト3 次世代自動車産業振興プロジェクト

- 次世代自動車産業分野の人材育成
 - ・「次世代自動車先端技術研修」を開催 [実績：2012年度 2回 38名、2013年度 1回 37名]
- 「クルマ未来博」の開催（2011年11月、2012年11月）
[実績：2012年度出展者数 123 入場者 2.2万人、2013年度出展者数 86 入場者 1.7万人]
- EV・PHVに対する本県独自の自動車税課税免除制度の導入（2012年度～）
[実績：課税免除対象 5,718台（EV2,270台、PHV2,511台）（2014年7月末）]
- 旅客・貨物運送事業者、中小企業等の事業者、自動車リース事業者に対し、低公害車導入促進費補助金を交付
[EV・PHVに対する補助実績：2011年度 198台 2012年度 138台 2013年度 106台]
- 「愛知県次世代自動車充電インフラ整備・配置計画」の策定（2013年7月）
- 「愛知県水素ステーション整備・配置計画」の策定（2014年2月）
- 「自動車安全技術プロジェクトチーム」の設置（2013年6月）
 - ・交通事故の抑止等に向け、民間企業、大学、国、自治体が連携し、自動車安全技術の研究開発・実証実験を推進
[実績：2013年度 PT 3回・WG 5回・体験会 1回 2014年度 PT 1回・WG 1回・体験会 2回]

プロジェクト4 航空宇宙産業振興プロジェクト

○国際戦略総合特区「アジア No. 1 航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進

- ・国の国際総合戦略総合特区の指定を受ける（2011年12月）
- ・区域の拡大に係る国の指定（2013年10月：三重県に拡大、2014年6月：長野県、静岡県に拡大）
- ・愛知・岐阜・三重・長野・静岡の239企業・団体・自治体で推進（2014年9月現在）

○JAXA との航空分野に係る連携協定の締結（2012年2月）

○愛知県飛行研究センターの供用開始（2012年3月）

○民間航空機の生産・整備拠点の整備（2013年度～）

- ・国有財産5.2haの取得（2013年度）
- ・進出事業者の公募（2013年度）及び事業予定者の決定（三菱重工業(株)：2014年5月）
- ・残置工作物の撤去工事及び用地引き渡し（2014年度）

○航空宇宙技術者育成研修の実施

- [実績：2012年度 初級研修受講者30人、5軸加工研修受講者10人
2013年度 初級研修受講者25人、5軸加工研修受講者10人
2014年度 入門研修受講者5人、初級研修受講者15人、5軸加工研修受講者10人]

○裾野拡大のための航空機部品の認証取得の支援

- [実績：2011年度 3件（JISQ9100）、1件（Nadcap）
2012年度 7件（JISQ9100）、1件（Nadcap）
2013年度 5件（JISQ9100）
2014年度 5件（JISQ9100）、1件（Nadcap）、1件（JISQ9100及びNadcap）]

○航空宇宙産業関連及び新規参入を目指す中堅・中小企業の販路開拓支援

- ・海外販路開拓セミナーの開催
- [実績：2012年度 全6回、延べ119企業・173人、2013年度 全4回、延べ199企業・313人]
- ・シンガポール・エアショーへ共同出展し、コーディネータを活用して商談を支援（2013年度）
- [実績：5企業1団体（計21企業）]

○国際会議の開催支援

- ・2012年国際宇宙展示会（JA2012）の開催支援（2012年度）
- ・第29回宇宙技術及び科学の国際シンポジウム（ISTS）の開催支援（2013年度）
- ・エアロマート名古屋2014の開催支援、コーディネータや通訳を活用して商談を支援（2014年度）

プロジェクト5 内需型新産業育成プロジェクト

○環境・新エネルギー産業の育成・振興

- ・産学行政で構成する「愛知県新エネルギー産業協議会」において、課題別研究会活動を開催
- [実績：2012年度 太陽光発電利活用研究会（3回）、燃料電池に関する技術研究会（3回）、二次電池研究会（2回）、熱エネルギー研究会（1回）
2013年度 太陽光発電利活用研究会（2回）、燃料電池に関する技術研究会（2回）、二次電池研究会（2回）、熱エネルギー研究会（2回）]
- ・「あいち臨空新エネルギー実証研究エリア」において新エネルギー関連の技術実証を支援
- [実績：2011年度9テーマ 2012年度7テーマ 2013年度6テーマ]
- ・地域活性化総合特区に指定された、豊田市における「次世代エネルギー・モビリティ創造特区」計画（計画期間：2015年度まで）への参画や連携した取組の実施
- [実績：2012年度 情報発信セミナー開催（1回）、ビジネスマッチングの開催（1回）
2013年度 情報発信セミナー開催（1回）、ビジネスマッチングの開催（1回）]
- ・燃料電池トライアルコアにおける技術支援

○地域の大学・企業・研究機関のロボット等を対象とした実証実験、実演展示等の支援

- [実績：2012年度 延べ1機関の実証実験を支援、実演展示5回開催（延べ67機関が出演）
2013年度 実演展示5回開催（延べ25機関が出演）]

○医療・福祉機器分野の支援

- ・医療・福祉機器分野の新規参入への支援
- [実績（セミナー）：2011年度 3回 92人、2012年度 2回 187人、2013年度 1回 64人]
- ・福祉用具・介護ロボットの実証評価の促進
- [実績：福祉用具開発の手引き作成（2013年度）、展示会の開催（2012年度、2013年度）]

プロジェクト6 企業立地強化プロジェクト

○名古屋市と共同で産業立地の基本方針である「愛知・名古屋産業立地推進プラン」を策定（2013年5月）

○産業立地促進税制の拡充（2013年4月～）

- ・「アジア No. 1 航空宇宙産業クラスター形成特区」の区域等に立地する企業を対象に新たに不動産取得税の課税免除措置を創設
- [実績（徴収猶予含む）：2013年度 減額22件 免除2件、
2014年度 減額0件、免除2件（8月末）]

○トップセールスによる企業誘致（セミナーの開催）

- [実績：2011年度 東京：参加159社・団体、大阪：参加84社・団体
2012年度 東京：参加160社・団体、大阪：参加98社・団体
2013年度 東京：参加140社・団体、大阪：参加95社・団体]

○企業訪問の実施

- [実績：2012年度 1,591社 2013年度 1,890件 2014年度 765件（8月末）]

○外資系企業の本県進出意向のある企業の掘り起こし

- [実績：2012年度 意向調査3200社、県内視察のアレンジ10社]

○基盤整備の促進

- ・豊田・岡崎地区において、研究開発施設用地の造成工事の推進
- 東工区整地工事：工事着手（2012年11月）、中工区整地工事：工事着手（2013年8月）、用地造成工事完了は2020年度を予定
- ・新東名高速道路、名古屋第二環状自動車道等の広域幹線道路の整備促進及びこれらと一体となった地域の幹線道路ネットワークの強化
- [実績：2011年度 名古屋高速道路東海線（木場出入口～東海JCT）開通、
三遠南信自動車道（鳳来峡IC～静岡県境）開通
2012年度 名豊道路（豊川為当IC～前芝IC）開通
2013年度 名豊道路（細谷IC～豊橋東IC、幸田芦谷～蒲郡IC）開通
国道155号線（豊田市美山町～豊田市東新町）、
名古屋高速道路4号東海線（六番北出入口～木場出入口）]
- ・名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バース供用開始（2012年度）
 - ・三河港神野地区多目的国際ターミナルの整備促進（2012年度）
 - ・衣浦港武豊北ふ頭1号岸壁の耐震化促進等（2012年度）

【施策の柱3：グローバル展開への対応・内外交流の拡大】

プロジェクト7 アジア展開支援プロジェクト

○アジアとの経済連携及び進出企業の支援

- ・中国江蘇省及びベトナムハノイにおける県内企業支援の拠点となるサポートデスクの運営（開設：中国江蘇省2008年12月、ベトナム2009年3月）
[実績：2012年度 ネットワークミーティング（ハノイ2回、ホーチミン2回、蘇州3回）、相談件数67件、2013年度 ネットワークミーティング（ハノイ2回、ホーチミン2回、南京1回、蘇州3回）、相談件数68件、2014年度 ネットワークミーティング（無錫1回）、相談件数27件（8月末）]
- ・タイバンコク都との相互協力に関する覚書の締結（2012年7月）
- ・タイバンコクにおける海外情報センターの開設（2014年4月）
- ・タイ工業省との「経済連携に関する覚書」の締結（2014年9月）
- ・国際ビジネスに関するワンストップサービス拠点として「あいち国際ビジネス支援センター」を開設、(独法)日本貿易振興機構(JETRO)との間で「包括的業務協力に関する覚書」を締結（2014年2月）
[実績：国際ビジネス関連セミナー開催回数56件、相談件数565件、ビジネスライブラリー利用者数645人（開所から8月末まで）]

○海外における知的財産保護の推進

- ・中小企業者の外国への特許・意匠登録・商標登録出願への補助
[実績：2012年度 18件 2013年度 43件 2014年度 28件(8月末)]

○県内農産品等のアジア展開支援

- ・県内農産品及び地場産品のアジアへの販路開拓を目的として、商談会・販売促進会を開催
[実績：2012年度 上海、2013年度 香港 2014年度 バンコク]
- ・アジアにおけるマーケティング調査の実施
[実績：2011年度 上海、2012年度 シンガポール、2013年度 タイ]
- ・輸出志向業者等に対する研修会の開催
[実績：2012年度 1回開催 100人参加 2013年度 1回開催 103人参加]
- ・「農林水産業国際競争力強化センター」の設置（2012年度）

○海外の専門的な能力を持つ人材の受入・就労支援

- ・「愛知のものづくりを支える留学生」を県費で受け入れ、就職支援
[実績：2013年度 10人、2014年度 10人]
- ・留学生インターンシップの実施
[実績：2012年度 参加留学生 24人 参加企業 16社
2013年度 参加留学生 33人 参加企業 20社
2014年度 参加留学生 32人 参加企業 17社]

○中国上海市で開催される中国国際工業博覧会への県内企業の出展支援

- ・「愛知のものづくりを支える留学生」を県費で受け入れ、就職支援
[実績：2011年度 出展企業16社、2012年度 出展企業14社]

プロジェクト8 観光客誘致強化プロジェクト

○名古屋市と連携した「愛知・名古屋観光プロモーション」の実施

- [実績：2012年度 東京5月、大阪2月、韓国（知事渡航）11月、台湾2月
2013年度 東京6月、大阪12月、韓国（知事渡航）9月
2014年度 東京9月、タイ（知事渡航）9月]

○東アジア4か国・地域を対象とした観光プロモーションの実施

- [実績：2012年11～12月 韓国（ソウル）で観光物産展及び観光説明会・商談会・交流会を開催
2013年9月 韓国（釜山）で観光説明会・商談会・交流会を開催
2013年11月 中国（香港・広東省深圳市）での現地旅行会社セールスコール
2014年8月 台湾旅行会社招請]

○「B-1グランプリ in 豊川」の開催支援、併催イベント「魅力発信！愛知・東三河フェア」の実施（2013年11月9～10日）

- [実績：B-1グランプリ 出展64団体（過去最多） 来場者数58万1千人
魅力発信！愛知・東三河フェア 観光・物産紹介ブース出展者77、ステージイベント出演18団体]

○特産品の創出支援

- ・ご当地グルメを巡るグルメラリーの実施、ご当地グルメPRイベントの開催（2012年度）
- ・地産地消・農商工連携ビジネスフェア等の開催
[実績：2012年度 参加729名、出展80企業・団体、2013年度 参加717名、出展82企業・団体]
- ・認証・商標取得等の支援
[2012年度（シラス漁業：マリンエコラベル、豊橋ウナギ：地域団体商標）]
- ・なごやめしPR懇談会の開催（2014年度）

○産業観光、武将観光の推進

- ・愛知・岐阜・三重の産業観光施設を巡るスタンプラリーの実施
[実績：2012年度 産業観光194施設 21,648人
2013年度 産業観光205施設 21,924人、武将観光 70施設 2,840人]
- ・「あいち合戦ワールド」の開催（2014年11月30日開催予定）

○「おもてなし愛知県民会議」の開催

- ・県内の観光事業者、観光関係団体、地域住民、自治体が参画するおもてなし県民会議において、バリアフリーや多言語案内表示の充実など、当地に来訪する旅行者の利便性の向上に向けた情報交換等を実施 [実績：2012年度 79団体103人参加 2013年度 68団体 80人参加]

○イベント・コンベンション等（MICE）の戦略的な誘致

- ・国内唯一のMICE国際見本市「国際ミーティング・エキスポ」における情報収集の実施（2012、13、14年度）
- ・「グローバルMICE強化都市」（名古屋市と共に）選定を受けて、MICE誘致体制の強化を実施（2013、2014年度）
- ・ESDユネスコ世界会議の誘致（2011年度）・開催（2014年度）
- ・国際会議「宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）」（2013年6月）の開催支援

○2015年ミラノ国際博覧会出展参加準備

- ・日本館イベント広場参加催事の基本計画及び実施計画を名古屋市と共同で策定（2014年度）

【施策の柱4：就労促進に向けた人材対策】

プロジェクト9 就労支援・スキルアッププロジェクト

- 「愛知県新卒者就職支援協議会」における若年者の就労支援の実施
 - ・求人開拓の実施
[実績：2012年度 求人意向のある 941社のデータをハローワークに提供
2013年度 求人意向のある1,245社のデータをハローワークに提供
2014年度 求人意向のある1,257社のデータをハローワークに提供]
 - ・県内各地での合同企業説明会等の実施
[実績：2011年度 大学生向け34回、高校生向け14回
2012年度 大学生向け31回、高校生向け9回
2013年度 大学生向け34回、高校生向け9回
2014年度 大学生向け12回(9月末時点)]
- 「未就職卒業者等人材育成事業」の実施
[実績：2011年度 約600人 2012年度 約500人 2013年度 約120人 2014年度 約120人]
- 「ヤング・ジョブ・あいち」における若者就労支援の充実
 - ・「あいち若者ハローワーク」の併設(2012年度)
 - ・キャリアカウンセリングの拡充(2012年度)
- 高等技術専門校普通課程職業訓練の充実
 - ・東三河高等技術専門校(2011年度)及び名古屋高等技術専門校(2012年度)における「モノづくり総合科」の設置、名古屋高等技術専門校における「建築総合科」の設置)
- 「あいち女性の活躍促進プロジェクト」の実施
 - ・あいち労働総合支援フロア(ウィンクあいち)内に「子育て女性再就職サポートセンター」を設置し、相談・カウンセリングや職場実習等を実施するとともに、三河地域で臨時相談、再就職基礎セミナーを実施(2014年度)
- 障害者就業・生活支援センターの指定
 - ・県内12の障害者保健福祉圏域の全てに、障害者就業・生活支援センターを設置(2014年3月)
- 障害者向けの職業訓練の実施
 - ・障害者職業能力開発校における職業訓練
[実績：2012年度5科76人 2013年度5科91人 2014年度5科90人(9月末現在)]
 - ・NPO等における委託訓練
[実績：2012年度94科398人 2013年度96科405人 2014年度40科160人(9月末現在)]
- 離転職者向けの職業訓練の実施
 - ・高等技術専門校における職業訓練
[実績：2012年度14科574人 2013年度13科443人 2014年度13科318人(9月末現在)]
 - ・専修学校等における委託訓練
[実績：2012年度349科5,818人 2013年度379科6,009人 2014年度233科3,414人(9月末現在)]
- 70歳まで働ける社会を目指す「高齢者雇用促進セミナー」の開催
[実績：参加者 2012年度 125人 2013年度 105人 2014年度 10月31日開催予定]

プロジェクト10 次世代人材育成プロジェクト

- 学校段階ごとのキャリア教育の推進
 - ・小学校における「夢をはぐくむ あいち・モノづくり体験事業」の実施
[実績：2011年度-2013年度 名古屋市以外の全53市町村各1校]
 - ・小学校における「地域に学び・語り継ぐキャリア教育推進事業」の実施
[実績：2014年度～ 18市町村]
 - ・中学校における職場体験「あいち・出会いと体験の道場」の実施
[実績：2011年度～ 名古屋市以外の全公立中学校の生徒約5万人]
 - ・高等学校への社会人講師の派遣
[実績：2012年度 42校に延べ239時間派遣
2013年度 50校に延べ264時間派遣
2014年度 88校に延べ176時間派遣(計画)]
 - ・「大学生1日職場体験支援モデル事業」の実施
[実績：2012年度 大学生55人参加 受入中小企業12社
2013年度 大学生91人参加 受入中小企業20社]
- 次世代の人材づくりを推進
 - ・「モノづくり人材育成事業」により工業高校の生徒や教員に対する技能実習を実施
[実績：2012年度 生徒27人 教員18人
2013年度 生徒14人 教員21名
2014年度 生徒20人 教員11人(9月末現在)]
- 産業人材の育成と確保に向けた庁内検討会議の設置(2014年度)
- 技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会の開催及び開催に向けた準備

【施策の柱5：生き生きと働ける環境づくり】

プロジェクト11 仕事と生活の調和促進プロジェクト

- 「あいち仕事と生活の調和行動計画」に基づく「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」を実施
 - ・「県内一斉ノー残業デー」への取組
[実績：2012年度5,615事業所が賛同、229,074人が定時退社、
2013年度6,223事業所が賛同、244,444人が定時退社]
 - ・「1日多い有給休暇取得」への取組
[実績：2012年度2,357事業所が賛同、2013年度1,372事業所が賛同]
 - ・「育児や介護支援」への取組
[実績：2013年度1,644事業所が賛同]
 - ・「メンタルヘルス対策」への取組
[実績：2013年度2,028事業所が賛同]

○愛知県ファミリー・フレンドリー企業制度の普及、優秀企業の表彰

- ・ファミリー・フレンドリー企業登録の促進

[実績：登録企業 累計 2013年度 1,071社 (2014年8月末：1105件)]

- ・ファミリー・フレンドリー企業のうち、優れた取組を実施している企業を、知事が表彰

[実績：2012年度 5社 2013年度 5社]

○職場のメンタルヘルスのためのアドバイザーを派遣

- ・中小企業等が行う職場のメンタルヘルス対策を支援するため、産業医や社会保険労務士などの専門家をアドバイザーとして派遣 [実績：2012年度 30件 2013年度 30件]

○保健所及び精神保健福祉センターにおけるメンタルヘルス相談の実施

[実績：2012年度 25,753件、2013年度 26,058件]

プロジェクト12 子育てしやすい環境づくりプロジェクト

○子育て環境の整備に向けた企業への支援、職場づくり

- ・「事業所内保育施設先進事例集」、「ワーク・ライフ・バランス取組好事例集」のファミリー・フレンドリー企業専用サイトでの紹介
- ・子育て家庭、職場、地域全体で子育てを支える県民運動「子育て応援の日（はぐみんデー：毎月19日）」の実施

○保育サービス・放課後対策の推進

- ・低年齢児保育の受入児童数
[実績：2012年4月1日現在 37,261人、2013年4月1日現在 39,325人、2014年4月1日現在 41,346人]
- ・休日保育の実施か所数
[実績：2012年度 51か所 2013年度 51か所]
- ・延長保育の実施か所数
[実績：2012年度 691か所 2013年度 749か所]
- ・病児・病後児保育の実施か所数
[実績：2012年度 46か所 2013年度 47か所]
- ・認定こども園の認定件数
[実績：2012年4月1日現在 16件 2013年4月1日現在 19か所]
- ・放課後児童クラブの実施箇所数
[実績：2012年度 642か所 2013年度 659か所]
- ・放課後子ども教室の実施箇所
[実績：2012年度 32市町村 247教室、2013年度 33市町村 253教室、2014年度計画 30市町村 247教室]

○NPOや企業との協働

- ・子育て家庭優待事業協賛店舗ホームページへの掲載による情報発信
[実績：アクセス件数 2013年度月平均 2,306件、2014年度8月末現在 3,023件]

「あいち産業労働ビジョン 2011－2015」フォローアップ会議委員意見の概要

項目	委員意見
進捗への評価	<ul style="list-style-type: none"> ○どの分野もきめ細かく対策を講じている。 ○取組状況については、きめ細かい対応をしていると感じている。 ○しっかりと取り組んでおり、ありがたく思っている。 ○個々に足りない部分はあるが、全体としてはバランスの取れた施策を実施している。未達になっている項目について要因分析と今後どうするかが欠けている。
施策 PR	<ul style="list-style-type: none"> ○きちっとした周知、宣伝が不足している。小規模事業者には行き届いていない。 ○施策が県内の中小企業に知れわたっているのかが問題。 ○施策の PR には、金融機関を上手に使って欲しい。
人材不足	<ul style="list-style-type: none"> ○製造現場に携わる専門人材の育成が急務。 ○技能者、技術者が不足。技術系・工業系の人材を増やしていかないといけない。 ○職業訓練なども含めた施策を充実して欲しい。 ○女性の活躍、就労支援の充実をして欲しい。 ○これまでのような人材確保は難しい。外国人の受入も積極的にやる必要がある。
雇用関係	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の雇用の問題が非常に深刻。 ○雇用の流動化に向け、セーフティネットをどう作っていくかが重要な施策。 ○若者の就職支援は最重点の施策。 ○障害者の雇用について、ノウハウの収集・提供や支援策の周知が大事。
原材料高・消費税対策等	<ul style="list-style-type: none"> ○光熱費や原材料高分のコスト転嫁が難しい。 ○中小へのアンケートで、消費税の価格転嫁は 6 割が可能と回答したが、売上げ減少への懸念が大きい。 ○消費税転嫁対策、事業継承対策も是非お願いしたい。 ○消費者と関わる我々は、アベノミクスの恩恵をあまり感じていない。 ○アベノミクスが本物かどうかの判断が難しい。
国際化	<ul style="list-style-type: none"> ○海外事務所が法律・会計事務所等との仲介役として、相談にのってもらえるといい。 ○普通のサラリーマンが国際的になっていくということも重要。
地域の魅力・観光	<ul style="list-style-type: none"> ○なごやめしに限らず、地域のコンテンツを世界に向けて情報発信。 ○観光客誘致プロジェクトなどの観光分野をもっと重視していいのでは。 ○リニアインパクトでは、ストローより求心力が大きいと思う。 ○地域の魅力づくり、住みやすさということが今後大きな問題。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○中部圏でのリーダーシップを發揮して欲しい。リード役としての愛知県という部分が非常に期待されている。 ○名古屋市外では、商工会・商工会議所が果たす役割は大きい。連携促進を深めて欲しい。 ○各商工会地域で商品の販路開拓支援にも少し積極的なご支援、取組をお願いしたい。 ○市町村に小規模企業に特化した条例の制定を働きかけていただければ、地域の小規模事業者に対する支援策の明確化ができ、地域の活性化につながる。 ○基本調査のような取組を定期的に繰り返しやっていくことに意味がある。